

■失敗前提の挑戦■

ほぼ週刊【松村拓也のメールマガジン】第 401 号

こんにちは、松村拓也です。

E-Mail と Facebook で松村拓也の活動についてはほぼ毎週お届けしています。

ご意見、ご質問大歓迎です。

オンラインの議論をご希望の方は、気軽に返信ください。

.....

401 目次

- 1. トピックス：真鶴町の顛末
- 2. ブログより：失敗前提の挑戦
- 3. 今週のお誘い+今後の予定
- 4. 地主の学校・販売中
- 5. アクセスポイント：問い合わせ先
- 6. このメルマガについて

.....

1. トピックス：真鶴町の顛末

毎週火曜日の朝 8 時、僕はこのメルマガを発信するようにしていますが、今日は朝一番で重大な決定がなされるので、それを見極めてから発信することにしました。

それは、神奈川県真鶴町の副町長選任の件、10 時 10 分町議会において否決となりました。

もしも可決されたなら、今日から副町長に就任し、仕事に取り掛からなければなりません。

そこで今朝は 6 時過ぎに自宅を出発し、真鶴町役場で待機していたのですが、それは無駄に終わりました。

・

今日のブログにも書きましたが、そもそも僕の挑戦は失敗を前提にしています。

ですから、今日の否決はある意味で想定範囲内ですし、否決後の行動計画もイメージしてあります。

だから、否決自体に落胆はしていないのですが、可決を想定した準備が無駄になったことが残念です。

今日の議会はまだ続いているので、町長室で待ちながらこれを書いています。

ここまでの顛末を今日の報告とさせていただき、この続きは後日報告したいと思います。

・

真鶴町は様々な課題を抱える小さな町ですが、だからこそ、自治体に丸投げせず自らがまちづくりに取り組むコミュニティづくりに挑むことができるはず。

来年は、そんなビジョンを皆さんに伝え、小さな国づくりに挑みたいと思っています。

.....

2. ブログより：失敗前提の挑戦

挑戦とは、困難な問題や未経験のことなどに取り組むこと。

僕が取り組む「起業」とは、文字通り「事業を起こす」ことでなく、むしろ「挑戦全般」のことを指す。両者の違いについて論じたいのだが、それは「僕の言う起業」と、「一般に用いられる起業」という言葉が違う意味を持つということだ。

僕は決して、誰もが「起業」という言葉を「間違っただけで使っている」と言いたいわけではない。むしろ、起業には「挑戦的起業」と「そうでない起業」があると云った方が良くもしい。そこで今日は、「起業」と「挑戦」の違いについて述べることにする。

・

「挑戦」において重要なことは、ゴールまでの道を描くこと。前例（経験）があればそれをトレースできるが、前例が無い未経験の「挑戦」では、それを自力で描くしかない。

道を描けずに結果だけを目指すのは、まぐれに身を任せるようなもの。

そこで、ゴールまでの道という仮説を描き、一歩ずつ実行検証しながら進むことになる。

この時肝心なことは、最初の一步をどうするかだ。

一歩踏み出すことで、気づいたり判ったりすることが、2歩目の踏み出し方に示唆を与えてくれ、2歩目を踏み出すことが3歩目という具合に繰り返しが始まる。

だが、初めの一步にはほとんど何も手掛かりが無く、自分の意思だけで踏み出さなければならない。

・

また、一歩ずつ軌道修正しながら前進できているうちは、かなり順調な方だろう。

場合によっては次の一步が踏み出せなかったり、来てはならない所に辿り着いてしまうこともある。

こうした状態を失敗と呼び、多くの人がそこで前進を諦めてしまう。

だがもしも、それでも諦めずに前進を続けたなら、人はそれを失敗と呼ぶだろうか。

「失敗は成功のもと」という言葉は、こうした失敗を乗り越えてこそ成功にたどり着けると説くわけだが、僕はあえて、その状況でなく諦めを「失敗」と呼ぶことにしたい。

では、前進を諦めて辞めてしまうのが失敗なら、必要がなくなると前進を辞めることは何というのだろうか。

前進するの必要がなくなるとはゴールに着いた時のことで、それは成功を意味している。

つまり、「途中で辞める」のが「失敗」で、「最後に辞める」のが「成功」と言えるかもしれない。

・

さて、もしも終わりを求めるのでなく、終わらないことを求めるなら、ここで言う成功や失敗は不要になると僕は思う。

すでにそこには終わりという成功は存在せず、継続を阻む失敗だけが立ちはだかる。

失敗をものともせず、乗り越えれば良いと言われるかもしれないが、幾多の失敗を重ねた僕は、その難しさをよく知っている。

たとえ失敗によって前進が停止しても、初めの一步からやり直せばいいじゃないか。

かつて会社が倒産に追い込まれ時、そう考えた僕にとって一番難しかったのが初めの一步を踏み出すことだった。

失敗を乗り越えるには、まず失敗しなければならない。

失敗を回避し、失敗しないようにしている限り、失敗を乗り越えた先に行くことはできない。

・

そもそも失敗して停止してしまうのは、失敗を想定せずビックリしてパニックになるからだ。

失敗を想定するとは、失敗しても止まらないようにすること、つまり、失敗した時に為すべきことを決めておけばいい。

例えば、自分が何かの役職に就くことで仕事をするつもりなら、役職に就けなければ何もできなくなってしまう

う。  
そこで、役職に就くことを前提とするのを辞め、役職に就けなかった場合の対処法を決めておけばいい。  
もしも役職に就くのがゴールなら、役職に就いても就かなくても、そこで取り組みは終了だ。  
だが、仕事をやるために必要な役職であれば、役職に就けなくても諦めるわけにはいかない。  
これこそが失敗を乗り越えるモチベーションであり、必要性となる訳だ。

失敗を乗り越えるには、乗り越えた先にゴールを見据えればいい。  
そうすれば、途中で失敗しても成功しても、目指すゴールに変わりはなく、それを目指して何度でも挑戦すればいい。

余談だが、英語のチャレンジは「挑戦」ではなく、「疑い」という意味を持つそうだ。  
challenge は「間違っって非難する」という意味のラテン語起源の動詞で、主に他動詞として用いる。  
近頃様々なスポーツで審判の判断に異議を唱えることを「チャレンジ」と呼ぶが、まさにこれが疑うこと。  
「何に挑む」ではなく「人に挑む」という意味で使われている。  
成功や失敗も、現実そのもののことでなく、人がどう思うかの問題だ。  
失敗の想定が「反対意見の想定」だとしたら、むしろ必ずすべきことだと僕は思う。

<https://nanoni.co.jp/20221226/>

3. 今週+今後の予定（下記以外はすべて空いています）

【凡例】◎：申込不要、○：申込必要、×：一般参加不可

■今週の予定

- (火) 12/27 なのに（世田谷）作業日  
会議○：20-21時 LR 定例営会議（zoom）
- (水) 12/28 なのに（世田谷）作業日  
会議×：13-14時 一宮庵 MTG（成城）  
交流×：18-20時 笑恵館・住人忘年会（笑恵館）
- (木) 12/29 いづみ（横浜）作業日  
交流○：19-21時 いづみ・忘年会（反町）
- (金) 12/30 なのに（世田谷）旅行日  
会議×：15-17時 Sプロジェクト（笑恵館）
- (土) 12/31 なのに（世田谷）旅行日
- (日) 01/01 なのに（世田谷）旅行日
- (月) 01/02 なのに（世田谷）作業日

■定例の予定

- 月曜・第2,4 22-23時 ○八島花文化財団準備室 MTG（zoom）
- 火曜・第2 18-20時 ○LR 定例営会議（zoom）  
第4 20-21時 ○LR 定例営会議（zoom）
- 木曜・第2 15-16時 ×かなこ PJT（zoom）

- 17-19 時 ◎笑恵館クラブ運営会議（笑恵館）
- 第3 13-18 時 ◎笑恵館なるほどデイ（笑恵館）
- 18-20 時 ○笑恵館完全持ち寄り食事会（笑恵館）
- 20-21 時 ×AR 子ども書籍 MTG（zoom）
- 第4 17-19 時 ◎笑恵館クラブ運営会議（笑恵館）
- 20-21 時 ○一宮庵クラブ運営会議（成城）
- 金曜・第4 08-09 時 ○地主の学校ゼミ（zoom）
- 土曜・毎週 09-17 時 ◎よろず相談会（笑恵館）
- 第2 12-14 時 ×RYUSEN PJT（zoom）
- 日曜・毎週 09-17 時 ◎いづみ PJT オープンデイ、説明会（反町）
- 第4 10-14 時 ○名栗の森オーナーシップクラブ月例会（飯能）

■今後の予定

- 01/06 会議×：10-11 時 100smile 会議（zoom）
- 01/09 会議×：17-19 時 HFA 定例会（恵比寿）
- 01/09 交流×：19-21 時 HFA 新年会（恵比寿）
- 01/18 会議○：11-14 時 OforW 運営会議＋新年会（zoom）

松村の予定はこちらで随時公開しています。

<http://nanoni.co.jp/schedule>

.....

4. 地主の学校・販売中

拙著【地主の学校】はこちら

<https://www.bungeisha.co.jp/bookinfo/detail/978-4-286-23339-0.jsp>

セミナー、読書会など気軽にご相談ください。

.....

5. アクセスポイント

松村拓也

メール [takuya@nanoni.co.jp](mailto:takuya@nanoni.co.jp)

携帯 090-9830-3669

自宅：

〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-27-19 笑恵館

<http://shokeikan.com/>

主な所属団体：

株式会社なのに（取締役・平社員）

<http://nanoni.co.jp/>

一般社団法人日本土地資源協会（代表理事）

<http://land-resource.org/>

特手非営利活動法人 HOME-FOR-ALL（事務局長）

<http://www.home-for-all.org/>

一般社団法人地域社会圏研究所（事務局長）

<https://localrepublic.jp/>

.....

## 6. このメルマガについて

松村拓也とご縁のあった方に、日々の活動やブログ記事の抜粋などの情報をほぼ毎週お届けします。  
参加希望、ご意見、ご質問など、何でもこのメールに返信してください。

バックナンバーはこちら

<http://nanoni.co.jp/magazine/>

メール配信をご希望の方はこちら

<http://eepurl.com/dHjgFX>

まぐまぐ版はこちら

<https://www.mag2.com/m/0001693746>